



平成最後の

浸水から街を守る『いろは呑龍トンネル』

いろは呑龍新聞

2019年(平成31年)4月号
第40号

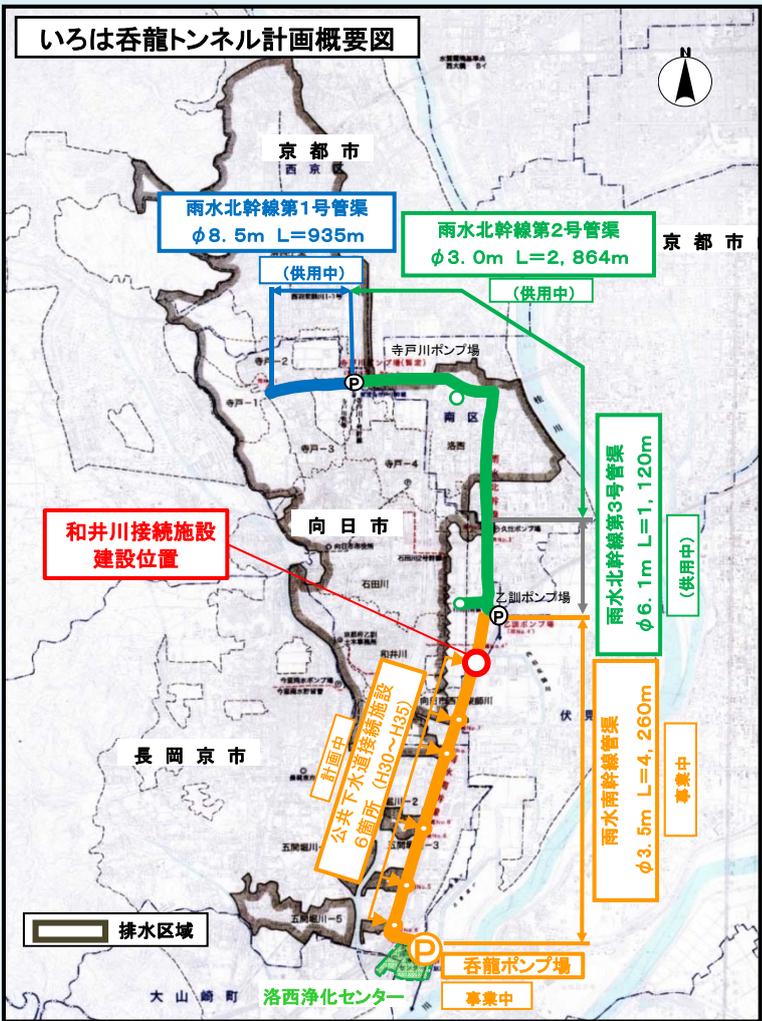
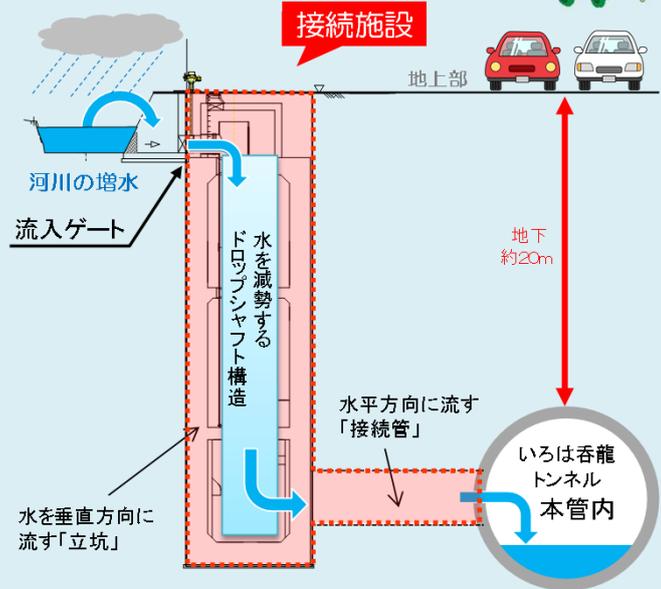
令和2年度の暫定供用に向け、いろは呑龍トンネル**和井川接続施設**を整備しています！

平成25年度から整備を進める「いろは呑龍トンネル南幹線」は、呑龍ポンプ場建設工事とともに、雨水を集めて南幹線へ流入させる「和井川接続施設」の整備に平成30年度から着手し、令和2年度の暫定供用を目指しています。

接続施設とは

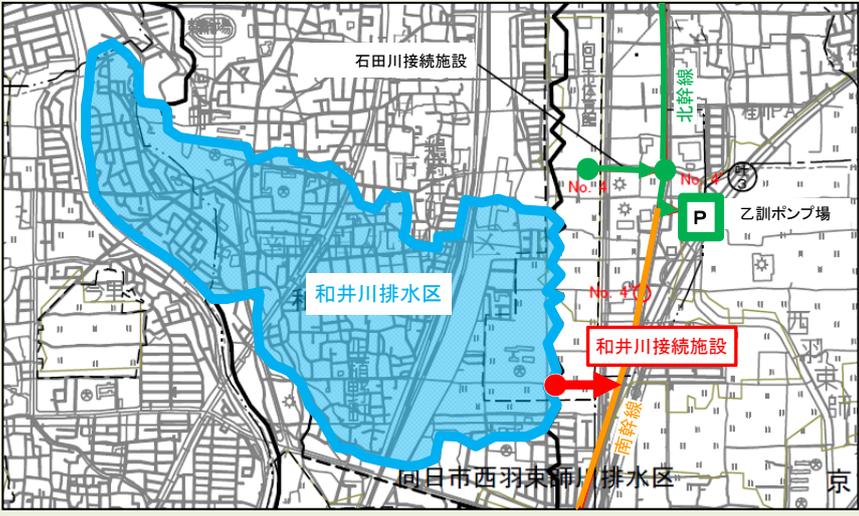
降雨により増水した河川水をトンネルの本管に引き込むための施設です。大きな落差によって生じる水の勢いを減らし、スムーズに流入する構造としています。

地下約20mにトンネルがあるんだ！

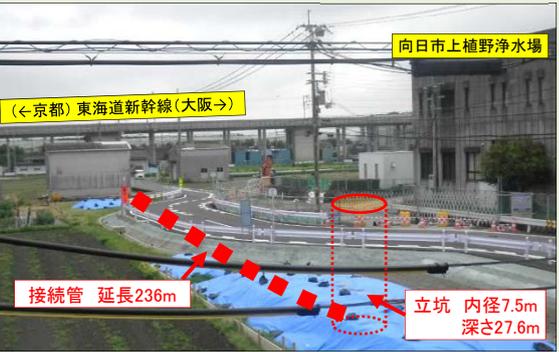


和井川接続施設の概要

京都市、向日市、長岡京市域にまたがる和井川排水区(排水区域面積118ha)を対象として、公共下水道へ集まった雨水を流入させます。



現場状況



立坑の建設敷地を確保するため、迂回道路の築造や近接物の移設が完了しました！